

各委員会・係からのお知らせ

1. 教会評議会より・

第6波もピークを越えたといわれますが、鈴蘭台周辺では高齢者施設を中心に、今なお感染者が出ているようです。兵庫県全体でも毎日多くの方がなくなっておられます。当教会でもこれまで以上に感染対策の徹底をお願いいたします。聖堂内での会話は控えていただき、ミサ後は速やかな帰宅をお願いいたします。

2. 典礼委員会より・

コロナウィルスの感染対策のため、引き続きミサは先唱者のみ応唱、応答することといたしますので、よろしくお願いいたします。

3. 社会活動委員会より・

①教皇フランシスコは、ウクライナのために平和を祈り、人道支援を呼びかけています。これを受けカリタスジャパンは、「ウクライナ危機人道支援」緊急募金の受付を開始しました。当教会もこれに協力するため信徒館に募金箱を設置しますので、皆様のご協力をお願いいたします。なお、カリタスジャパンの呼びかけは裏面をご覧ください。

②10月から12月までの「5円ランチ」募金・3ヶ月分を17,105円は「シナピスこども基金」へ、17,105円は「ハウスオブジョイ基金」へ送金いたしました。この募金は、教会内外の皆さま方の温かな善意にささえられております。これからも祈りとともにご支援を賜りますよう、よろしくお願いを申し上げます。

③2月10日(木)は、鈴蘭台の炊き出し担当日でした。配給数98名に対し、11名の皆さんにご支援をいただきました。また、募金並びにお米の寄贈にも厚く感謝いたします。これからも祈りとともにご協力をよろしくお願い申し上げます。

4. レジオ・マリエより・

—「毎日のミサ」購読申し込みのご案内—

2022年5月号から2023年4月号まで1年分の購読申し込みを受け付けます。1年分の代金5100円をそえて係までお申し込みください。新たに購読したいと思われる方も是非お申し込みください。単独でのご注文よりもお安くお求めいただけます。締め切りは本日とさせていただきます。

5. 聖堂掃除当番係より・

信徒館男女トイレも改修から年数がたち汚れ等が目立ってきました。改修時の営繕係の方に確認のうえ、清掃方法を変更いたします。内容はトイレに掲示してありますので確認をお願いいたします。

6. ヨセフ会より・

4月3日(日)ミサ後、10時よりヨセフ会を行います。A/C班の方も出席をお願いします。

7. 婦人会より・

4月1日(金)10時より臨時婦人会を行います。各月の担当者の方はご出席ください。

8. その他・

① ミサ参加にあたってのお願い

- (a) 体調不良の場合は、ミサへの参加を自粛してください。
- (b) ミサ参加時は、マスクを着用してください。
- (c) 信徒館入口で、手指消毒と体調チェックシートを記入し提出してください。
(自宅検温を済ませておいてください。また、筆記用具は各自ご持参ください。)
- (d) まだ寒い日が続いています。これからもコロナ感染症対策のため、ミサ中上部窓開放、下部窓より排気など換気を十分に行います。各自自主的に防寒対策をし、体調管理に十分ご留意ください。

② 3月主日ミサ参加班分け・司祭ローテーション

主 日	参加班	司 式 司 祭
3月13日(日)	A&C班	染野 治雄神父
3月20日(日)	B班	松永 敦神父
3月27日(日)	A&C班	松永 敦神父

A&C班 = 鈴蘭台地区&西神、三木、小野地区

B班 = 北鈴蘭台地区より北神地区

(カリタスジャパンサイトより)

「ウクライナ危機人道支援」緊急募金の受付を開始しました。

報道によると、2月24日から始まったロシアによるウクライナへの大規模軍事侵攻により、これまでに600人近い市民が犠牲となり、100万人に上る人々が隣国に避難していると言われています。

ウクライナにおいてカリタスは2014年のロシアのウクライナへの攻撃以降、緩衝地帯に暮らす人々への緊急支援を続けていましたが、今回もいち早くウクライナ全土で長期・短期避難所の提供や、移動希望者の送迎、精神的ケア、離れ離れになってしまった家族の再統合、国境付近で待機する難民への食糧支援などを行っています。また、周辺国のカリタスと協働し、ヨーロッパからの食糧や衣料品の調達を開始しています。

カリタスジャパンは、ウクライナの状況と、ウクライナにおけるカリタスの活動を考慮し、〈ウクライナ危機人道支援〉緊急募金の受付を決定しました。お寄せいただいた募金は、ウクライナとその周辺国で行われる人道支援活動のために活用させていただきます。